

豊かな食文化
向上への貢献

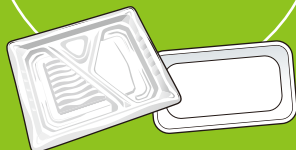


公式キャラクター
トレーマン

中央化学が取り組む プラスチック製食品容器事業

当社はプラスチック製食品容器のパイオニアとして、1962年から、スーパーマーケットでお肉やお魚等が入っているPSP(ポリスチレンペーパー)トレーの製造・販売を開始しました。当社の製品は、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、専門店でお弁当やお惣菜の容器、お肉やお魚が入ったトレー、豆腐や納豆の容器等、多岐に亘って使用されております。当社はお客様のニーズにお応えするため新素材・新製品の開発をし続け、世の中に安全・安心な食品容器を提供して参りました。今後も資源循環型社会の実現に努め、人口・世帯構造、ビジネス環境、消費者意識の変化に対応した食品容器を提供し、豊かな食文化の向上に貢献して参ります。

プラスチック製
食品容器の
機能と役割



食生活を支えるプラスチック製食品容器

プラスチック製食品容器は衛生性、経済性、輸送効率、デザイン性等多くの優れた機能があります。1960年代以降スーパーマーケットを始め、食品流通の新しい時代への発展に重要な役割を果たしてきました。プラスチック製食品容器は既に日常生活に欠かせないアイテムとなっており、人々の食生活を支えています。



食品を
守る

ガードマン

食品を衛生的に、物理的に保護し
安全・安心に家庭まで運ぶ
お手伝いをします。



食生活を
支える

ヘルパー

食生活を支え、効率的な輸送で、
遠隔地にも届きやすいように
機能しています。



情報を
伝える

セールスマン

商品情報を適切に表示し、
容器の色・柄を工夫することで
鮮度感や季節感をお届けします。



安心を、いつも中央に。

株主通信

第56期 中間決算報告

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日



トップメッセージ



株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへのご理解とともに格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社グループの第56期第2四半期(2015年4月1日から2015年9月30日)が終了致しましたので、ここに営業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は緩やかな回復基調で推移したものの、当食品包装容器業界の市場環境は、円安による食料品や、生活必需品等の値上げにより、消費者の生活防衛意識が依然として高い状態にある中、節約志向が継続しています。

このような状況のもと、当社は、原材料調達コストの削減、不採算製品の収益改善、

製造原価を始め物流費や管理費等あらゆる経費の見直しを積極的に行い、コスト削減と効率化を進めて参りました。

また、当社は基本戦略である「商品の再構成、品揃えの充実」「お客様対応の迅速化と柔軟性向上」「顧客基点の営業強化と提案営業」のもと、惣菜容器「デリモア」シリーズ、丼容器「うつわめし」、寿司容器「楽市」等新機能とコンセプトを兼ね備えた多くの新製品を市場に投入し、拡販活動に注力して参りました。更に秋から年末年始商戦に向けた展示会を全国4会場で開催し、新製品の紹介と売り場提案を行い、お客様から大変ご好評をいただきました。



中国においては、GDP成長率の低下はあるものの、中産階級の増加と生活スタイルの変化、食の多様化等により当社製品への引き合いが堅調なことから、引き続き新製品の投入と新規顧客の開拓を進めて参ります。

この結果、当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高、経常利益ともに前年を上回ることとなりました。

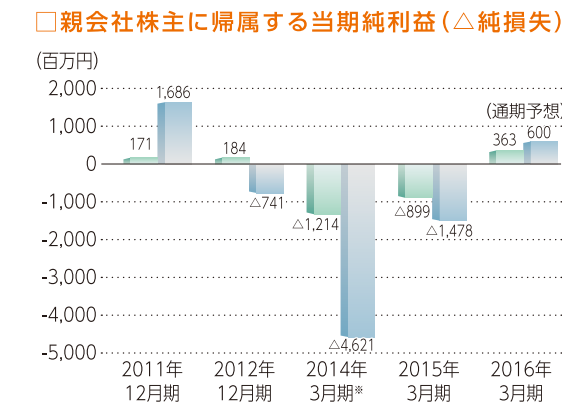
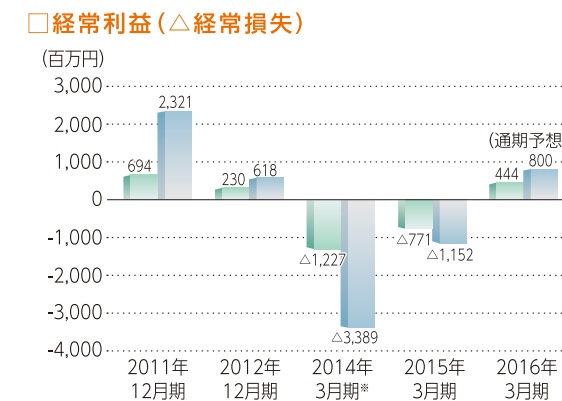
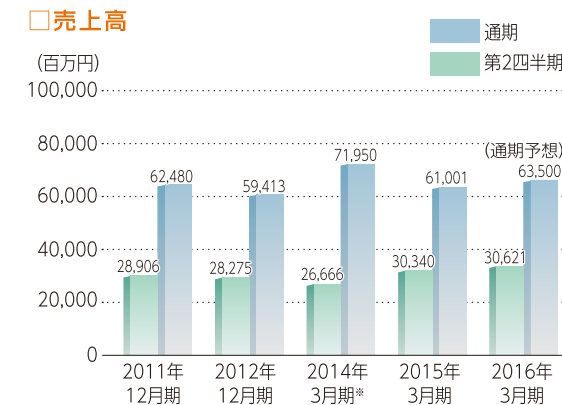
当中間決算における配当につきましては、当社を取り巻く経営環境を鑑み内部留保の充実を図りたく、誠に遺憾ではございますが見送りとさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともにご理解を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中央化学株式会社
代表取締役社長 水野和也

連結財務ハイライト



※2014年3月期は決算期の変更(12月31日を3月31日)に伴い、2013年1月1日から2014年3月31日までの15ヶ月の変則事業年度となります。
※上記決算期の変更に伴い、第2四半期の期間も変更となります。2014年3月期まで(1月1日～6月30日)、2015年3月期から(4月1日～9月30日)。



東北工場 操業再開

東日本大震災による福島第一原発事故により東北工場の稼働を停止しましたが、本年10月27日に竣工式を開催し、11月から本格的に操業を再開することとなりました。当社は、生産ラインの停止に伴うリスクを分散する目的で、鹿島工場を始めとする他工場での生産体制をとりました。また、再稼働するまでの期間、従業員を他事業所へ異動し、お客様にご迷惑をおかけする事態を回避して参りました。

今般、東北工場を再稼働するにあたり、工場周りの除染作業を優先して実施しました。放射線の空間線量については、その後も定期的な定点測定を継続し、基準値以下であることを確認しています。

また、東北工場では当社が3年前に開発した、軽量性と環境性能に優れた断熱積層発泡素材SDを活用したSD製品の増産の他、復興する東北地区での地産地消に対応した安全・安心な食品容器づくりを進めて参ります。

展示会開催

2015年7月から9月まで、大阪、郡山、東京、札幌の4会場で展示会を開催しました。多数のお客様にご来場いただき、盛況のうちに終えることができました。今回はハロウィン、ボジョレー・ヌーヴォー解禁、クリスマス、年末年始と、イベントが続くシーズンにあわせて、市場ニーズに沿ったイベントメニューと容器の提案を行い、多くの来場者にご好評をいただきました。



デリデコ



年末年始の提案コーナー



イベントメニューの提案コーナー



新製品コーナー

新製品上市

■ 天城(あまぎ)

ハカマタイプの寿司容器です。寿司の位置を高く見せる形状と、寿司を縁取るように入った金色が高級感を表現。光沢性に優れ、際立つ上質感で特別な日を演出する容器です。



HS天城 27-3 いわい赤

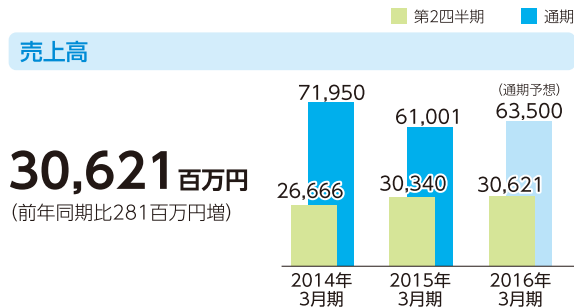
HS天城 10-2 まきえ金

HS天城 10-2 いわい赤

連結財務諸表

● 収益の状況(連結)

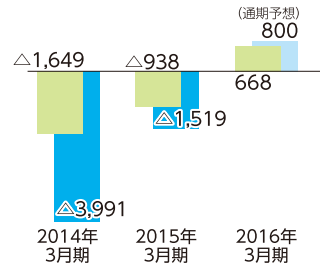
単位:百万円



営業利益(△営業損失)

668百万円

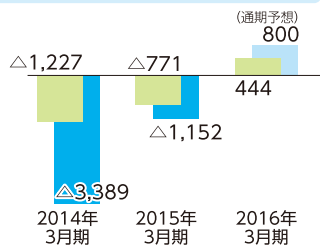
(前年同期比1,606百万円増)



経常利益(△経常損失)

444百万円

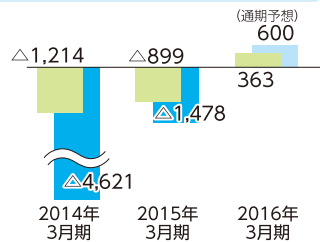
(前年同期比1,215百万円増)



親会社株主に帰属する当期純利益(△純損失)

363百万円

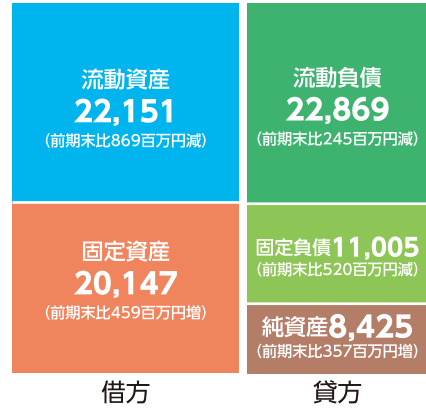
(前年同期比1,262百万円増)



● 資産の状況(連結)

単位:百万円

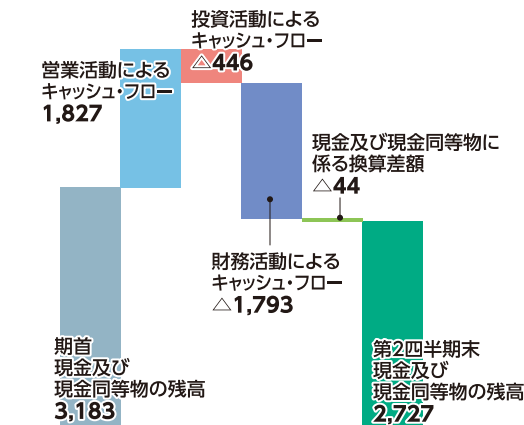
(2015年9月30日現在)



● キャッシュ・フローの状況(連結)

単位:百万円

(2015年4月1日~2015年9月30日)



会社概要

(2015年9月30日現在)

商号	中央化学株式会社
設立年月日	1961年1月30日 (創業 1957年)
資本金	62億1,275万円
決算期	3月31日
従業員数	2,149名(連結)

役員一覧

(2015年9月30日現在)

代表取締役社長	水野 和也
代表取締役	森本 和宣
取締役	中井 正
取締役	宮内 孝久
取締役	藤木 洋
取締役	近藤 康正
常勤監査役	大吉 正人
監査役	山口 吉一
監査役	北島 雅幸

株式情報

(2015年9月30日現在)

株式の概要

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	21,040,000株
株主数	880名

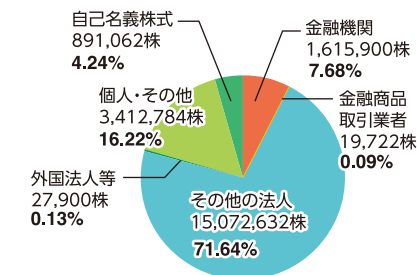
株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告 http://www.chuo-kagaku.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主構成

※2015年9月30日現在の株主名簿上での名義で記載しております。

●所有者別株式分布



●所有株式数別株主分布

